



(1) 尾去澤鑛山ダム決潰現場(×印)向つて右方は鑛泥奔流の跡。

## 尾去澤鑛山堰堤決潰事件

十一月二十日午前三時頃、秋田縣鹿角郡三  
菱尾去澤鑛山中ノ澤の精鍊滓の硫化泥沈澱貯  
水池のダム高さ約60尺が、數日來の降雨の爲  
緩み突如決潰し、泥流は怒濤の如く物凄く奔  
流して、鑛山と花輪町とを繋ぐ澤に殺倒しそ  
の下流は全部長屋といはず住宅といはず農家  
といはず泥流に押流され、或は埋没し、上流

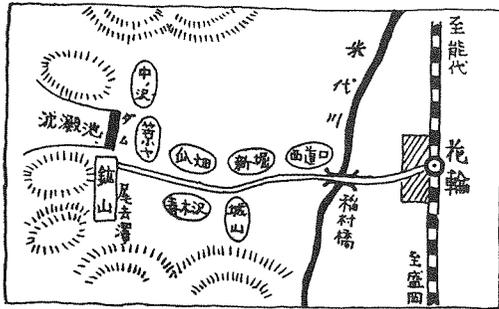


附近に於ては硫化  
泥數百尺下に埋没  
した家屋あり、花  
輪町鑛山間の交通  
は全く杜絶し、泥  
流は尾去澤字西道  
口より更に米代川  
上流に達し同川を  
堰止めて川水を逆

流させ花輪驛附近の田圃まで一面に泥流の海  
となし、未曾有の慘狀を呈した事件は、當時  
新聞紙上に報導せられた處であるが、現地を  
視察した商工省伊藤、榎本兩技師の報告に依  
れば、次の如き狀況である。

### 災害の實況

今回災害を發生せる中の澤堆積場は一日約  
千噸の選鑛々泥を堆積せしめつゝありたるも  
のにして、昭和七年より使用開始し現在堰堤  
の高さ六十米頂部に於ける長さ二百五十米堆  
積物面積約一萬一千坪あり、堆積せしむる鑛  
泥は選鑛場シツクナーより管及び樋により運  
搬せらるゝものにして、水分約五十パーセン  
トを含む、堆積場中心部には常に深さ約五十  
センチ程度の上澄水を湛へ所謂尺八樋にて堰



堤外に排水せるものなり、災害發生前數日は雨天なりしもこの降雨量は特に多量ならざりしといふも數字的には未詳なり、然るに廿日午前一時半より二時頃にいたり堰堤中央部分高さ三十米附近より洩水あるを夜警夫等發見し急を庶務、工作等の擔當主任に報じたり、よつて之等關係職員をはじめ鑛山長等幹部は現場に急行し取敢へず選鑛場の操業を止めて鑛泥の流入を防止し溜水の排除（當時尺八樋口に於て約二尺の溜水ありといふ）並に堰堤の修理に努めたるも洩水なほ盛んにして遂に午前三時頃一大音響と共に堰堤中央部決潰し非常なる勢ひを以て鑛泥流出するに至りたる

(2) 鑛泥奔流の慘憺たる跡。



ものなり、決潰部分は長さ百八十米高約六十米なり之が決潰の原因については詳細に當時の狀況を確めたる上決定するものにして目下關係官に於て凡ゆる方面より資料を蒐集し徹底的に調査を續けつゝあり、然し乍ら之が取調べは相當時日を要する見込なり。

救援の狀況

さきに堰堤より洩水あるを認めるや、幹部職員は萬一を慮り職員その他をして堰堤下流の鑛夫住宅地に急を報知し避難せしむるやう命令を發したるも未だ同鑛山地域に及ばざるに災害を惹起せるを以て多數の罹災者を出せり、なほ當時警報中の職員の中七名は難を避ける遑なく罹災せり、而して災害發生當日以後はでき得るかぎり罹災生存者の救護、死體收容等に努めたり、又關係方面に對する報道の遅延せるは花輪鑛山間電信電話不通となり交通杜絶せるによるものなり、糧食その他の物資は尾去澤驛より土深井を経て馬車軌道により直ちに搬入せるを以て窮乏にいたらざりき、廿一日には飲用水路の復舊工事、花輪鑛

山間の交通路改修、火葬場の建設等を完成し花輪にいはる索道の運轉を開始して物資の運搬を一層円滑ならしめたり。

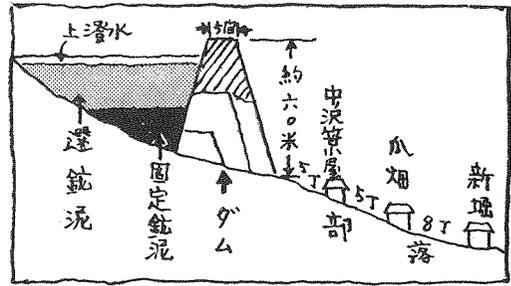
### 決潰部分の鑛泥扞止に関する 應急處置

決潰部分からはなほ少量の鑛泥流下を繼續しつゝあるを以て之を防止し且既出せる鑛泥排除を敏活ならしむる目的のため決潰堰堤の下流百米の位置に應急の堰堤(高さ約十米)を築造することに決し目下工事を進めつゝあり之が完成には約十日を要する見込で完成の暁は更にその下流百米に同様の堰堤を築造し萬全を期することゝせり。(二十三日)

### 被害状況

被害區域は鑛山内及び悪水川下流、米代川沿岸にして二十二日午後四時現在判明せる被害耕作地は悪水川下流數町歩と米代川沿岸二十町歩にて被害戸數は尾去澤町全戸數1051戸中322戸にして鑛山所有家屋198戸、民家24戸なり、然して被害人員は總人口6021名中1586名にしてうち死者271名、負傷者68名、行方不明96名、生存者1051名の見込みなり、尙

### (3) 潰された劇場、左は町役場。



今回の災害に對し鑛山當事者としては取敢へず見舞金及び香奠を罹災者に贈り不明死體全部判明せる暁は合同葬を執り行ひ遺族に對しては事件の特殊性に鑑み充分の弔慰方法を講ずることゝなり又目下住所なき罹災者に對しては至急小學校々庭にバラック百戸(一三戸八疊一間)を建設し物資の配給には萬全を期しをれり、尙ほ鑛泥水流出による鑛害賠償については鑛山側で事件一段落の後慎重に考慮する豫定にして操業は現在救護に忙殺されつゝあるを以て全然休止せるは勿論年内の操業は困難なるものと認む、監督當局としては弔慰方法及び操業休止中の鑛夫の給與等については遺憾なきを期せしめたり。

